



令和4年度 第47回 入学式

4月7日(木)に第47回入学式を挙行し、65名の新入生を迎え、225名が揃いました。今年も新型コロナウイルス感染防止のため、少し短縮した形となりましたが、校門の小栗栖桜も、小栗栖池の枝垂桜も大変美しく咲き誇り、新入生を迎えてくれました。

式の中で新入生に送ったメッセージの一部を紹介します。

＜入学式式辞より抜粋＞

小栗栖中学校での学校生活に大事なキーワードを用意しました。

それは、『慮』です。熟語としては配慮、考慮、思慮深いなどに使われますが、この漢字一字で「おもんばかり」と読みます。意味は「周囲の状況などをよくよく考える。思いをめぐらす」です。

自分のことはよくわかっていますが、他の人はどう思っているだろう？こんな言い方をすると嫌な思いをさせるかな？とちょっと相手の気持ちを考えられる人になって欲しいのです。小栗栖中学校の生徒が相手の気持ちを慮ることができたなら、小栗栖中学校はとっても過ごしやすい場所になると思っています。昨日の始業式で二年生、三年生にも同じ話をしました。みんなと一緒にそんな学校にしていきましょう。

さらに、この3年間で皆さんに身に付けてもらいたいことは「私の得意なことを10個言えます」という人になってもらいたいのです。3年間で10個ですから、1年に3個ずつぐらいでしょうか？これは、皆さんが就職をするであろう10年後には、今、存在する仕事がいくつあるかわかりません。新たな仕事も存在することでしょう。そんな時、できないことで苦手なことを追い求めるのではなく、できることを「できるから大丈夫」ではなく「もっと伸ばしたい。もっとできるようになりたい」と思うことが大切です。

「これは自信をもってできる」ということが10個あれば、10年後がどのような社会であれ、自分に合った仕事を選択することができると思います。卒業するときに「私は大人になったらこういう理由で、こういう職業に就きたいです」と、ぜひ自分の言葉で発信できるような生徒になってもらいたいと思います。

先日、小栗栖小学校の閉校式があり、続いて石田小学校と小栗栖小学校の統合式が行われました。これは令和7年から新しい義務教育学校が開校するための、一次統合と呼ばれるものです。まもなく思い出深い小栗栖小学校の解体工事も始まります。皆さんからするとまだ先の話ととらえるかもしれませんが、統合して新しい学校になるということは、その前に伝統ある

この小栗栖中学校をどう閉じるのかということが、大きな課題です。なぜなら、今ここにいる、皆さんが「小栗栖中学校最後の卒業生」となるわけです。先日、小栗栖小学校を卒業した皆さんは小栗栖小学校でも、小栗栖中学校でも最後の卒業生です。48年間の長い歴史を締めくくる皆さんの役割は大変大きいものとなります。今、皆さんが初めて着た、その標準服を着る学年も最後です。入学したばかりで実感がないかもしれませんが、新しい学校の方向性を創っていくのは皆さんであることを自覚して3年間を過ごしてもらいたいと思っています。



第1学年担任団



早速、池に関心を持つ新入生

令和4年度 教職員組織

【各学年担当】

	1組	2組	3組	4組	学年所属
1年	鯉江 方個 坂瀬 慶太郎	阿部 泰宏	吉田 幸平		新庄 泰子・洞井 輝昌 今井 葉月・秋岡 長成 村岡 優妃
2年		山根 良介	井櫻 峻	大道 頌	山田 直樹・水谷 和之 齋藤 響・森田 静奈 牧野さやか
3年		土居 真和子 吉田 龍司	井元 晶士 永瀬 貴生	橋爪 明子 木村 嘉孝	玉田 天詩・荻窪 誠侑

【主な職務担当と職員組織】

校長	今津 敏一						
教頭	山本 力也						
教務主任	洞井 輝昌						
学年主任	1年	新庄 泰子	2年	山田 直樹	3年	永瀬 貴生	
学年副主任		洞井 輝昌		山根 良介		橋爪 明子	
研究主任	吉田 幸平						
生徒指導部長	阿部 泰宏						
進路指導主事	木村 嘉孝						
補導主任	吉田 龍司						
総合育成養育主任	鯉江 方個						
養護担当	工藤 恵莉						
事務運営主幹	村岡 真湖						
管理用務員	熊本 淳一						
総合育成支援員	坂元 美奈						
日本語指導	前川 美保・堀 太一郎・小山 民子・畑中こずゑ						
母語指導	劉 建栄・木之本マリル・車 郁代						
スクールカウンセラー	渡部みもえ						
通級指導	原口 妙						
図書支援員	林田 芳里						
校務支援員	松原こず恵				白石理恵子		
部活動指導員	坂元 美奈				玉田 天詩		

「就学援助」及び「総合育成支援教育就学奨励費」制度のお知らせ

京都市では、お子さんが市立小・中学校へ就学するにあたり、経済的な理由によりお困りの保護者に対し、学用品費や給食費などを援助する就学援助制度を設けています。

なお、市立小学校卒業時に就学援助の認定を受けていた場合、新規の申込は不要です。継続の案内は別途お知らせします。

※新型コロナウイルス感染症の影響により家計が急変する等、経済的な理由でお困りの場合は、収入状況の悪化がわかるものをご提出いただくこと等により認定できる場合がある臨時措置を設けています。まずは、学校にご相談ください。

また、育成学級に在籍しているお子さんのご家庭や、普通学級に在籍し、総合支援学校に通う程度の障害があるお子さんのご家庭に対し、学用品費等の一部を補助する総合育成支援教育就学奨励費制度も設けています。

申込みの手続きやご相談・ご質問がある方は学校までお申し出ください。